



## 第54回 由布市立挾間中学校 卒業証書授与式 より

3月7日に令和6年度の卒業式が終わりました。思えば、今年の卒業生は、コロナ禍の影響も少しずつ緩やかになり、多くの規制から元通りの自分たちの生活を取り戻していこうと試行錯誤をした学年でした。だからこそ、卒業式に全員で、心を一つにして歌い上げた学年合唱には、込みあげてくる思いがありました。「これから向かう未来には、上手くいかないこともあるかもしれないけれど、その時こそ、自分の人生の節だと思って、乗り越えて行ってほしい。」という言葉、贈（はなむけ）として贈りました。卒業生の人生に幸あれ！



## 1年生、2年生の学年末懇談会が開催されました！

3月21日、本年度最後の授業参観と学級懇談会が開催されました。授業参観では、1年生、2年生ともに、1年間をかけて取り組んできた「由布学」の発表として、自分たちが調べたものや考えた提言を、プレゼンにまとめて、保護者の方々に報告をしました。

多くの保護者の方に見て頂く中で、今年の学びを受けて、来年はどのようなことに取り組んで行きたいかを考えていました。「課題発見力」「課題解決力」「情報収集力」「情報処理力」等々、子どもたちは、「由布学」の学びを通して、付けるべき力をしっかりと自分のものにしていくことができます。



## シリーズ「つながる！親子で語り合いませんか！」「2024年度は、あなたにとってどんな年でしたか？」

いよいよ本年度が終わります。2024年度は、皆さんにとってどんな年でしたでしょうか？上手くいった人、上手くいかないことばかりで落ち込んだ人、人生の大きな選択を迫られた人、様々だと思います。私にとっては、考えさせられることの多かった1年でした。「子どもたちにどんな力を付ける必要があるのか？」「どうすることが子どもたちの幸せに繋がるのか？」などなど。まだ答えを見つけることはできていませんが、ヒントは得ることができた気がしています。大切なことは、「自分の状況を自分で認知できる力」です。同時に「改善策を自分で考えて、実行できる力」も必要です。例えば勉強です。1時間の授業が終わったら、1日の生活が終わったら、自分の勉強した内容がどの位定着しているかをきちんと把握し、対応した学習（宿題）を、自分で選んで、ゲームやYouTubeの誘惑に負けずに、実行できる力。こうした力こそ、求められているのだと思います。そのためには、やらされるのではなく、自分の意思で考えることが、大切になります。この力を「主体性」と言います。来年度の挾間中学校の付けるべき力は、「主体性」です。来年度も、挾間中学校は前進あるのみです。